京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 【金貳圓】▲一枚金二錢▲一ヶ月前金弁五▲三ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金四圓▲郵税一ヶ月十三錢

廣告料金 【五十字詰一行金七十五錢】▲五號活字十七字詰一行一回金十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太 印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六二)

發行所 京城新報社

滿洲大豆の集散

(滿鐵輸送の成績)

滿洲大豆豪商の事情は既に報道したる如く其原因は歐洲に於ける需要の減少に在りて殊に英國に於て專門家の調査したる所によれば諸種の食用脂肪中大豆より採取したるものを最良とすべきと明白なりとすれば其需要益々増加したる折柄昨秋南北滿洲の作柄は比較的不作なりしとの世評に農家に於ても前途を見越して多少悲観ある向もあること等に依れるならん本年は二月迄に歐洲に輸出せられたる大豆の額は浦鹽より約二十萬噸大連より八萬噸に達して前年同期の輸出額に比して甚だしく減少せるを見る而して滿鐵の輸送額を見れば大連に出でたるもの四十萬七千噸にして前年同期に比して八萬噸を増加し又營口に出でたるもの五萬噸にして一萬五千噸を減じ更に昨年二月頃沿線各驛に堆積せる在荷は毎日平均九萬噸なりしに昨今は二万噸内外に過ぎずして稍や寂寞の感なきにあらざるも昨年の輸送力は一日平均六千五百噸なりしに本年は一日八千噸を輸送し得るに至れるを以て實際の輸送額は決して減少せるにあらずと云ふ兎に角前年同期の輸送額を基礎とし年々の増加率によりて考ふるときは當期は今一層の發展を見るべき筈なりしに僅に九万噸の増加に止まるは前記原因の外に前年には寛城子陰岡資間の各地より滿鐵に吸收したる大豆を當期に於ては反對に浦港に吸收せらるゝに至りしこと等も其主因なるべしと云ふ然し前記の如く當期は農家の賣惜み又は商人の商況等の爲め出荷少なしと雖も例年の如く夏期に至りて閉散を極むることなく徐々に出荷あるべき模樣なれば鐵道輸送の點より云へば前年の如く季節になりて繁閑其極端に走るの弊を免れて却て好結果を收め得べしとなり

日露貨物連絡問題

(南國主權の衝突)

昨年露都会議に於て一度び行悩みとなりたる日露貨物の聯絡は其の後露國政府に於て移からず其の不成立を遺憾とし頃日又もや露都會議の再開を促し來りたるが我が鐵道院を始め南滿會社及び大阪商船に於ても出來得べくんば兩者提携の成立を希望し茲に田中滿鐵理事は打合の要務を帶て去る十日大阪に至り大阪商船の末永氏と會見する所あり其の結果數日後東京に於て再び日本側各代表者の集會を開くことゝなりたるが元來該貨物聯絡協約の成立には兩國國法上の相違あり即ち彼の貨物紛爭等より生ずる裁判權の問題は國際私法の慣例に基き之を除却し得べしと雖も主權の對抗より生ずる共同分損の裁判權其他雖解の事項少からざるのみならず前回の如き參列員にては國家の使命を帶ふるものにあらざれば何等國際法上有効の協約を締結する能力なく從つて其の決議事項も殆ど無効となるべきにより參列員等は或種の權限委任を受くるか乃至本邦をしてベルンの國際鐵道協約に加入するか二者何れかの方法に出でんことを希望せるも法制局はベルン國際協約加入の不必要を唱へ夫れよりも何等かの方法にて兩主權の衝突を避くると共に兩國國法の抵觸を除き以て聯絡協約を成立せしむるに如かずとなし各國の實例等調査しつゝあれば或は數日後に開かるべき代表者の集會には何等かの提案あるならんか

各地方市場の情報

順川市場の暴動以來內部地方局にては各道の市場狀況を調査したるが北韓一帶は商民頑迷にして兎角反對の氣勢を示しまれど南韓地方は極めて平穏にして現に慶尙南道に於ける宜寧三嘉丹城の諸郡は尤も成績館く三嘉財務署徵稅員人官吏は韓語に精通せるものから町嘸に收稅の意味を說明し商民中一人の不平を唱ふる者なく又居昌警察管內各市場も平穏にして殊に陝川郡市場は農の虐政陝求より逃れ稅額も減少したるより地方費の課稅を喜びその公平を讃して善政碑を建設しこれ程なりと

地方通信

▲平壤通信

▲韓銀と平壤砂金 韓國に於て金の產額の大部分は平壤に集注すべき平安北道の鐵山より出る者にして之が我邦に輸出せられ重大なる用を辨じつゝある事は人の知る所なるが今平壤韓國銀行支店砂金課に於て取扱ふ砂金の狀況を聞くに年々増加し漸次好況に向ひつゝあるが我が鐵道院を始め南滿會社及び大阪商船に於ても出來得べくんば兩者提携の成立を希望し茲に田中滿鐵理事は打合の要務を帶て去る十日大阪に至り大阪商船の末永氏と會見する所あり其の結果數日後東京に於て再び日本側各代表者の集會を開くことゝなりたるが元來該貨物聯絡協約の成立には兩國國法上の相違あり即ち彼の貨物紛爭等より生ずる裁判權の問題は國際私法の慣例に基き之を除却し得べしと雖も主權の對抗より生ずる共同分損の裁判權其他雖解の事項少からざるのみならず前回の如き參列員にては國家の使命を帶ふるものにあらざれば何等國際法上有効の協約を締結する能力なく從つて其の決議事項も殆ど無効となるべきにより參列員等は或種の權限委任を受くるか乃至本邦をしてベルンの國際鐵道協約に加入するか二者何れかの方法に出でんことを希望せるも法制局はベルン國際協約加入の不必要を唱へ夫れよりも何等かの方法にて兩主權の衝突を避くると共に兩國國法の抵觸を除き以て聯絡協約を成立せしむるに如かずとなし各國の實例等調査しつゝあれば或は數日後に開かるべき代表者の集會には何等かの提案あるならんか

▲韓銀の砂金近況 平壤韓國銀行支店に於ては取扱ひつゝある砂金事務に就ては之が採掘高の増加と共に取扱高も各年増加し良好なる成績を以て進みつゝあるが今其近況を聞くに當正月前は一般韓人の資金の需用多き爲め現品取扱高多く業務も亦多忙なりしも其後は比較的閑散なりしが既に大同江も解氷し發氣に向ひたるを以て本月下旬頃よりは之が取扱高の増加と共に業務の漸次繁忙を見るに至るべしと云ふ

▲粟と大豆市況 既に解氷せる今日平壤市場の穀物取引は益々好況を呈し面白き手合せあり殊に粟は北韓の不作につれ各商店とも市場に出廻り次第買込みつゝありしが十日一商店が韓人より七圓六十錢にて一千叺買込み翌十一日は元山方面より粟の注文電報各店に入りたる爲め一層投氣付き四十五錢方昇騰を告げ一韓人と一商店とは八圓五錢にて約二千五百叺の取引商談纏ひ鎭南浦より舞船の入江を待つて元山へ輸送せんとしつゝあり尙ほ粟は約七千叺平壤に在荷の外は小口ものにて八九百叺千五百叺の外は小口ものにて前記三位の在荷に過ぎず大豆は一時七圓の高價を唱へたるも倫敦の銀塊相場一時二十四片十六分の七八を唱へたるが二十三片十六分の七八を下落したるを始め鐵嶺大豆の取引に大影響を及ぼし大連にて百斤に付き八九日前四圓十五錢なりしものが三圓八十錢に下落し而も買手なしといふ不況に陷り自然韓大豆にも影響し目下六圓二十錢に下落し品薄にして僅に當用口あるのみなり然れども漸次大同江上流成川地方より舟楫の便にて出廻るべきを以て近く面白き手合せを見るに至るべしと(十三日調)

◎新刊紹介

▲富の日本(第二號) 本號は初號とは面目を一新して經濟界を標榜する傍ら家庭欄の設けあれば獨り實業のみならず婦女子と雖も一讀して大に得る處あるべし(東京日本橋區兜町富の日本社)

▲精神治療新報(第四十七號) 本誌は藥療にあらずして專ら催眠術應用の精神療法を說明あり(東京芝愛宕町精神研究會)

▲刀劍書畫(第三號) 東京芝露町花月庵

▲小學校臨時增刊 新國定教科書等の一度出版さるゝや忽ちにして賣切れの盛況を呈し先日再版せり殊に本號には懸賞論あり(東京神田表神保町同文館)

▲帝國百科全書 全部を二百卷とし体裁も良く先日完成せり特約は四月十五日限り並製八十圓特製百十圓尙本書は各自撰取請續する事を得(東京市日本橋區本町三丁目博文館發行)

日本銘刀傳

第六十七席 邑井一講演

三郎は類りに考がへてゐたが 三「爺さん大きに有りがたい」 堤下の拙太のところへ來ると 勘「何うしたい三郎顏の色を變へて 三「大變なことが出來た 勘「何だ 三「實は只今茶見世の親爺の清六の所へ來て 勘「何うしたい三郎顏の色を變へて 三「大變なことが出來た 勘「何だ 三「實は只今茶見世の親爺の清六の所へ來て 勘「何うしたい三郎顏の色を變へて 三「大變なことが出來た 勘「何だ 三「實は只今茶見世の親爺の清六の所へ來て

人とも打つ切つて懷中の金を强奪りやア只今惡者しいどころ逃げはつく長へ浮世に短げへ生命、太く短かく世の中と詰るの外はねへ、何うだ勘太兄い片棒擔いヂャアくれめへか 勘「何うやら旨さうな話しだ、ヨシ夫れなら己れが片棒擔がふ……ダガ其んなわけヂア己れとは前ヂャア可けねへ、幸はひ疎助の五郎藏が居るから、五郎藏と高島の早太夫れに己れの子分の咲藏と五人で跡を追ひかけやうといふので、直ぐに疎助の五郎藏、高島の早太の兩人へ相談をかけると 五「何うだ金を四つに分けるなら往つても宜い 勘「其いつは取つての後ちの話しあひだ 三「夫れも出かけやうと、此れから咲藏もとも五人が支度をして跡から追ひかける。此方は跡から追はれることは神ならぬ身の夢にも知らず、高木まで運んで來る、今とは違ひ其の頃は道とても充分に調つてはをりませんが高木の原中までかゝつて來ると、道に迷ひ原中を詰ひたくも人家はなし困り切つてゐる、モウ此れ日は西山に落ちるといふ、足もと暗き原中に彌よ宿を求めること出來なければ致方がないから野宿をするの外はない、廣光新實の兩人は原中に夜を明かさせては申しわけ次第もございません故に、何うか此の上からは宿を求めたいと言つてゐる途端に向ふの芽をガヤ〳〵押し分けて出る來る六十ばかりの老人、籠を脊負つて腰に鎌を帶て居る、是れ幸はひと 眞「アーモシ御老人一寸御尋ね申したい 老「ハアナニカ御用か 眞「我々は鎌倉まで遊むものでございますが、駒れざる旅路に道に迷ひ困難をいたす、此れから何れへ參つたら宜うございふか、御案內を願ひ申したいが如何で 老「ヤア夫りヤアれ困りだらふ右へ、取つて來さつしやるのを左へ取つて來さつしたから、道を間違がへたゝ夫りヤアれ困りでせう、宜うございます、今此處へらで宿をするものはございましねへ、私らア家へ來て今夜泊らゞしやい、碌に食るものはございましねへけれど夫れで宜かアございらッせへ、私は此の檜澤村の孫兵衛といふものだ 眞「夫れは千萬かたじけない、然らば御案內くだされへ失禮ながら相當の御謝禮をいたす 孫「ハア謝禮も何も入りヤあしない、毎度ハア道に迷つた方をお連れ申してれ宿申すこともございませへます 眞「隨分惡い道でございますねへ 孫「イヤ此の道も今に追々と開けまして人が賑助の方へ越すやうに成りましたら、何うでございませうか、今のところは眞の街道の人は稀れなものでございますから 眞「大きに然やうでございふ 孫「ホウーら向ふに燈火が見わます、彼れが私の家だ 眞「此の邊に人家は何のくらゐ 孫「私等ア家を加へて十二三軒しかございません、此れから又た一山越すと、矢張檜澤村といふので少しは人家があります 眞「アー然やうで 孫「只今歸つたよ 婆「オヤ爺さんお歸り大きに御苦勞 孫「まだ悴のう歸つて來ねへか 婆「未だ歸つて來ねへ 孫「お客さんを連れて來たから洗水を取つて進せろ 婆「ハア然うかい……此りヤハハア何うか此方へ這入らしつて下せへ今のウ洗水ノッ進るでございますから 孫「イヤ何しろ私草臥た……ヤッぱつこいしまれ客さま足を洗つて此方へ上つたらズン〳〵此方の圍爐裏の傍へ來さつせへ、今はアヂも遊るものもございましねへが 眞「此りヤア有りがたいことでござる

京城新報

大隈伯の外遊說（一）

今の時に於て國民上下の希望

最近東都より歸城せる記者は讀者諸君に向つて何か土產話を提供するの義務を有するのである、合邦問題の成行か議會の形勢か、何れも讀者諸君に於て已に已に精通の事柄に屬するのである。而らば記者の土產話として適當なるものは何ぞ、トヤオイ考へた末が**大隈伯の外遊說**になつたのである。

大隈伯の外遊說、こは今日に於て未だ厳くは傳はつて居らぬのである、而かも東都の人士すら否何事に就ても早耳を以て時るところの兜町筋すら未だ多くは知らぬのである、而るに赤毛布たる記者は偶然にも最も確なる或筋から聞出し得たのである。大隈伯の外遊、之を耳にしただけでも記者は壯快に感じたのである、況んや之が實行されたら如何に壯快に感ずべきか。嗚呼早稻田大伯、伯の外遊は單に設だけにても聽者をして壯快を感ずるを禁じ得ざらしむるのである。

我國國運に五十有餘年、此間幕府の使者を初めとして明治政府の大官小官、さては近頃歸國した道米實業團に至るまで私の目的を有して外遊した者は中々に少くないのである、我皇室の御使として列國皇室を訪はせられた各宮様方は別として過去五十有餘年間に於る**我外遊者**は其公と私たるを問はず一般に**味噌**を付けに行つた觀があるのである、尤も彼の**岩倉大使**一行の如き**樂屋の記錄**に因れば相應に活動した様にも見受るが其實**右大臣の裝束姿**が各國交際社會男女の好奇心を滿足せしめた位に過ぎぬのである、爲に大使にして然り其他は推して知るべしである、彼の**臺灣後藤**今の逓相後藤男が**李鴻章式**の大名旅行をしても各國到る所に於て餘まり重要視されなかつたのは蓋し彼の人物か我帝國を代表すべき世界的人物に非ざることに職由したのである、故に**伊藤公**は理屈から云へば日本の偉人たると同時に世界の偉人たるべき資格を有して居られた筈である、而かも公の外遊中は何時如何なる國に於ても公は單に**宮廷**及び**一部官人**社會の客にして我邦を代表せる世界的偉人として迎へられた事はないのである。

二十世紀に於ける我大日本帝國は一等國の班に列して居るのである、此一等國にして世界的偉人の一人をも有せずとせば我五千萬衆の大なる恥辱であるのである、而かも幸にして**一人を有す**、然して其一人が大隈伯たることは記者の說く迄もなく內外天下億兆の許すところであるのである、今より數年前記者は東都に在つて米人ブライアン氏の接待役を勉めた事がある、ブ氏一夜**伊藤、大隈兩人と一堂に會す**、翌朝ホテル食卓に於て記者に語つて曰く余や幸にして昨夜兩偉人と一堂に會するの光榮を得たり、余にして兩偉人を露骨に評せんか伊藤公は**紙幣**にして大隈伯は**硬貨**なりと、ブ氏の短評其當否は別として伯が其通用を國內に限られさるは全然ブ氏の言の當れるところであるのである。（未完）

東京電報

▲**滿洲の金融機關** 横濱正金銀行は今回同行大連支店を總支店と改稱し滿洲に於ける唯一の金融機關とすることに決定し政府は明治卅八年法律第四十七號外國に於て銀行業を營び者に關する勅令を發布し同時に預金銀行命令を交附する筈なり（十四日）

▲**義勇艦建設中止** 帝國海事協會は第三次義勇艦建設計畫着々進捗し獨逸側との契約も整はんとするに至りしが何故か其建設を中止するとなれり（同上）

▲**特別大演習の兵力** 來十一月挙行せらるべき陸軍特別大演習の一般方屋並びに參加師團演習區域は大元帥陛下の御裁可を經たるが其參加師團は第五、第十、第十七、第十八の各師團及び豫後備混成旅團野砲兵、交通兵旅團等なり（同上）

▲**進歩黨と國民黨** 芝公園紅葉館に於て進歩黨大會を開き代議士前代議士常議員評議員等合計二百餘名參集、森田勇次郎氏開會の辭を述べ國民の聲職にて笑浦氏會長席に着き森田氏は常務及會計の報告を爲したる後大養毅氏新政黨組織に關する顚末を演說し練部總兵衛氏の發議に依り進歩黨支部を立憲國民黨支部に改め全國進歩黨員を立憲國民黨員と改ひることに決定し續いて殘務員の選擧に關し藤澤幾之助氏の發議に依り各常務幹事に一任し會長の發聲にて兩殿下の萬歲を三唱し散會したり（同上）

▲**アー國三百年祭臨席** 目下賜暇歸國中のブラジル國駐箚公使內田定槌氏はアルゼンチン共和國獨立三百年祭祝典臨席の爲め四月出發歸任すべし（同上）

▲**運羅農產物共進會** ライアム政府は來四月盤谷サバツムに農產物及び商品共進會を開催するに決定せる旨外務省へ通知ありたり（同上）

▲**皇太子殿下御輕快** 去る六日以來輕微なる御風氣に罹せられ御假床中なる皇太子殿下には其後益輕快に向せられ脈搏も平常に復せられ醫師の言上に依り一兩日中に御床拂仰せ出さるべし（十五日）

▲**關稅改正案上院** 今期議會の大問題たる關稅改正案は愈々貴族院の議に附せられ目下急速に審議中なるが來る二十日までには全部の決定を見るべし（同上）

▲**廿六議會の閉院** 議會開期の延長の必要なきを以て滿三ケ月即ち本月廿三日を以て第二十六議會終了し二十四日を以て閉院式を執行せらるべし（同上）

▲**軍艦生駒の出發** 軍艦生駒は本日横須賀を解纜しアルゼンチンに向ふ朝野の紳士見送數千に達し頗る盛んなりし（十五日）

▲**漁夫遭難の後報** 後報に依れば千葉縣下の遭難漁船は百六十八隻乘込人員千六百六十八名內六百十三名生存したれども其の他は行方不明なり、茨城縣下に於ては船數七十九隻生存者四十二名死亡者五十八名不明の漁船三十五隻人員五百四十四名なり（同上）

▲**公債募集の發布** 本日第二回四分利公債一億圓募集發布さる（同上）

雜報

韓國林政方針（一）

（齋藤農商工部技師談）

▲**林籍調査の必要** 山林の現狀を知らざれば林政の方針を定むべからず而も韓國に於ける官有民有林は幾許あるべきや森林と禿山の面積は如何、樹種は如何なるものに富めるか之等は未だ殆んど不明の境に在り苟も之等の基礎的調査にして明瞭なるを得んか林政の方針は自ら其理より決定し來らん其本を究めずして其末に走るも徒らに空論に陷り何等の價値なきものとなり終るべし故に農商工部は二萬六千圓の經費を六ケ月の日子とを以て其調査を完了せしむるの方針を立て本年八月迄に終了せしむる豫定なり素より十三種の地域に對し僅か二萬餘圓の經費と半ケ年の日子は寡少に失するの嫌あり苟も之を正確に近からしめんとせば幾十圓の費用と幾年の歲月を要すべし然れども韓國林政の現狀は巧遲よりも寧ろ拙速を貴ぶが故に此速成手段を採るとせば成に對し僅か二萬餘圓の經費と半ケ年の日子とを以て其調査を完了せしむるの方針を立て本年八月迄に終了せしむる豫定なり素より十三種の地域

趙看板製作 油繪肯像畫●電子金文字入ペンキ塗工事大勉强請負 永楽町二丁目 赤門通り 椹野工舎

妖婦櫛卷れ銀（二）

滿韓裏灣は元より米本國を荒せし女

妖丸が長き間の鼓海中にれ銀どメリーとの間に如何なる契約や成立ちけひれ銀が天性の怪腕は甘々と此の碧眼の外人と手中に丸め込み驚て同船が航路地に歸航するや否や該船長は間もなく暇を辭して銀と手を取り郷里なるコウフアウンドランドの片邊りにて何不自由なく暮す身とはなりたるが元來のれ銀何とて遠慮事にて滿足すべき調にも似合はぬ野心を抱きて來るべき時機を俟つ三十七年の春の事夫メリー酒等の爲めに卒中なして死去しけれ怪時と至れりと密謀と打笑み有金は新婚の準備財全部を賣拂ひ遠くサンフランシスコに乘出し茲に風人口入の看板を掲げ始めて一家の主婦となり如然れどれ銀も是が應接には閉口なし是れではとても遣り切れず誰れか代なり面も女の淺墓なるは免れず處も北米の要港

二十一歳のまだうら若き時

なる日本魔窟の眞中に妙齢の身を以て口入業を始めるは抑は大膽も又無謀の至りなりき、然れば此こと數日ならずして口入屋れ銀の名は遂に港圏の噂の種となり事あれかしと待構へたる不穏漢等は日々幾人と寄せかけて金を脅迫るあり色を促すあり流石のれ銀も是が應接には閉口なし是れではとても遣り切れず誰れか

不賴の漢徒群

後押しの男なくてはと漸く思案の網を固め彼れか是れかと選ぶ中是の人と丟ふは土地での顔役矢張り同業の通稱

南洋虎

の異名なる博徒の親分なりしが是れぞ銀の眼鏡違ひ大變もない酷ひ目に逢ふが因となりて遂には

櫛卷

と迄人に呼ばるゝ身となりし抑もの原因なり。斯くて れ銀は南洋虎を欺き大仕掛けの仕事を爲んと計畫中次第に虎の本性現れ自分の見た眼とは大異ひの惡漢なるを漸く悟りし時は既に遅しれ銀は彼等惡漢の

ワナに掛り

全財産はもとより自分の驅迄賣飛ばされ手等立涙に暮ひ居たりしなり斯と氣付き流石のれ銀も驚きしが最う

棄鉢

の度胸を定め勝手に爲るなら爲て見ろいと腹を投げ出して覺悟の上成行情夫の南洋虎に手切れ話を持出したり

倘此の蠱習

▽人肉を食よて死す

咸鏡北道明川群金某は昨年四月其子の疾病に罹れるを醫に診療せしめに遂珠病と稱する不治の難症なれば醫師にては治癒覺束なしされや人肉を用ひて進ひれば必ず功効あるべしと云へるを迷信し自已の下人の頭肉を切り取り服用せしめたるに下人は幸に全癒せる患者は直ちに死亡せしと慄習驚く可

龍山の漏電騒ぎ

▽電柱のみにて他は無事

昨十五日午前五時頃龍山本町二丁目二百五番戸先電柱より漏電の爲め火を發し電柱を燒き電柱より距離二間に足らぬ中路伊三七方へ燃え移らんとするを附近の人々見附けて大に驚き消止めんと焦慮れども數丈の高さに加ふるに漏電よりの發火なれば手のづけ難もなくアレヨ〳〵と驚くのみなりしが程近き憲兵分遣所にて此の物音を聞きつけ憲兵を出張せしひると同時に瓦斯會社に駈着けて電線を切斷せしめ憲兵隊より持來りたる消火器及川添某私有の消火器を以て電柱の火を消止めたるは五時四十分漸くにして事無きを得たるが同所附近の居住者は悉く荷物を片付け軍司令部用ポンプの如きは既に引出んばかりの準備を整へ屆たる程にて一時は中々の騒ぎなりし

黄海道の賊徒

▽戎が一行尚ほ追擊中

本月一日より黄海道に於ける守備隊警察官連合賊徒捜索實施の爲め援助として出張したる新院分遣所員は七日載寧郡下方面桂水洞に到りたるに村民より前夜數十名の賊徒宿泊し今朝未明に立去りしを聞知し一行は引續き附近を捜索せしに同郡大傷面方向に立去りたる形跡を探知したるを以て更に歩を進めて夕海郡大傷面菊田洞に到りて捜索せるに果が民家より一行に發射したるを以て直ちに應戰約三時間にして我れの發射數二百六十發賊遂に破れて逃走せり一行追撃賊の根據に入り見るに六名の賊徒斃れ居たるを以て死体を檢査する賊魁池寛植の印章及書面等あり

しも死者は賊魁池寛植なるや否やは未だ不明なるも彼れ池寛植は他にも數十名の部下をして海州郡動面地方を行動せしめつゝありと我が一行尚ほ追擊中因に七日の交戰の際直後せる重なるもの左の如し

軍刀一、軍銃二、彈丸若干、火藥袋二、軍人用帶革若干、其の他數點

商民警察に押寄す

▽穀物仲買商に設備願

數日前黄海道黄州邑内の商民五名及び市場に關係ある旅舍は酒店、飲食店等の業者等約四十名黄州警察署に押寄せれば其筋に於ては内數名を殘し他を退散せしめ出頭の理由を訊したる處近時穀物仲買商が穀物放賣者の市場に到るの途中に要して之れを買收するより市場の商民は爲めに打擊を蒙ること夥だしければ相當の賠償を乞ふとの事故穀物仲買者を召喚して說諭する處ありたりといふ

●暴徒面長を脅す

▽姜基東の部將と詐る

江原道氷平郡一東面柳洞里同面長命漢喜は去る六日夜自宅に於て附近二三の里洞長を會し職務上の打合せを爲しつゝありしに九時頃民長在住地と同稱なる約東方半里の地なる柳洞里長金平石の使なりと一韓人來り金宅迄來り呉れとあり命は職友の間柄とて何心なく金方に到りたるに既に三四名の附近里洞長は同じく金の使者と稱するもの來りたる一韓人は賊の首魁姜基東の元帥部中將李容圭なりと稱し二名の部下を率ひ拳銃を樞して面長並に各里洞長に向ひ近頃柳洞里に憲兵分遣所若くは巡査駐在所を設置する由聞及ぶ是れは全く汝等の請願に基くものにして我は天に代りて日本人に親近し國を賣る汝等を誅すべしと脅迫しつゝ面長命の懷中を捜り所持したる金二十圓を奪取し他日汝等を殺害する期あらんとて七日午前二時頃何處ともなく立去りたるより賊の服裝は何れも白衣韓裝にて各護身用拳銃を携へ居たるが察する所自ら姜基東の部下なりと稱するも近時抱川、加平、永平の諸郡に亘り義兵を標榜して掠奪を事とする草賊の類なるべし

●賣藥行商の命賭け

▽賣藥と毛布で命拾ひ

滋賀縣坂田郡伊順村生れ當時開城瀧井殖造方止宿の賣藥行商福田新七（三）なるもの去る五日午前九時ごろ平山郡古之面へ赴かんと驢馬に跨り助浦を出立し同十時過ぎ金川郡北面緩峰洞に至りたるとき古方山を呼ぶ小丘の方より銃丸一発飛び來りて中田とく（二）は病氣の爲め療養歸國全癒迄休業

●第一樓の新妓

北海道膳振國と云ふは昨十四日陸軍運輸部廣海岸に於て船舶用太綱約三十尋を拾得し直ちに仁川署に屆け出でたり

●柔道練習會

大和町東洋協會分校場内に於て特志の人々相集り柔道の練習を始めたるが一般の希望者に對しも入門を許すべしといふ

●鼠次の病氣休業

新町玉家抱ねの鼠次事中田とく（二）は病氣の爲め療養歸國全癒迄休業

●默て左樣なら

仁川猫島新地南海樓の抱ね酌婦原籍長崎縣佐世保高砂町大竹竹藏の娘みゆの（二）と云へる去る三十日京城町二丁目の口入屋丸目後右衛門の紹介にて仁川宮町三丁目の紹介業義田宇市の手を經て前借金百三十五圓にて前記南海樓に酌婦として抱へられたるものなるが直ぐ其の翌る日の十四日午前七時と云ふに一寸本町迄用達しに行つて來ますからと濟まし込んで出て行きしまゝ何時まで待つても歸つて來ぬにぞ同樓にては大驚き何程若い者とは云へモウ二十一になつてるとなれば世夫往來に落ちて居て離れかに拾はれて仕舞ふ如な事もあるまいが夫れでも若しやと云ふの念の爲め警察へ出頭して聞いて見たが其樓拾ひ物の屆け出ではなしと判つて二度吃驚夫れどやあ故度親切な兄いさんに何處へ伴れて行かれたに相違なしと氣の付いた頃は朝鮮島の城に急ぐ黄昏時なりしとは甘ね〜〜

●郡衙燒失

十四日朝麗尚南道金海郡衙燒失したる旨其筋へ電報ありたり

●賭博中に網

一昨十四日正午麗山櫻田町一大工職谷川次郎吉方にて谷川外四五人が賭博の最中警官に踏込まれたるが現場より逃走したるも次郎吉のみは取押へられて警察に引かれりと

●仁川支部町居住の八幡吉藝

といふは一昨十四日陸軍運輸部廣海岸に於て船舶用太綱約三十尋を拾得し直ちに仁川署に屆け出でたり

●吉公綱を拾ふ

▽蒲生三勇士（京山花笑）▽樓川五郎麗（吉川梅丸）▽水戸黄門記（京山花若）▽觀音丹次（吉川梅光）▽佐倉義民傳（岡本美根松）▽小栗判官（岡本美根由）▽義士銘々傳（桃中軒雲丸）

目と耳

▲歌舞伎座　同座にては演藝館の向ふを張つて明十七日よりキチオラマ式大活動寫眞開演の筈なるが其の影畫は左の種類なり

忠臣蔵兜改め高輪義士の墓迄（十一場）▲水滸傳（雪中の大奮闘）▲大切大川友衛門忠死の場▲兒島高德奮の櫻（一幕）▲新派悲劇血の涙（七場）▲俳奥として▲月下の波濤▲目前の天罰▲文明國の海軍生活▲劇界の大慘事▲發狂せる曲藝師▲大魔術巴里踊り

▲壽座　曾我廼家一座の同座本晩の替り狂言は左の如し

第一番御祝儀福之神（一場）第二番目共に喜樂（三場）第三番目命の替玉（四場）第四番目ダイヤモンド（四場）第五番目布引三段目實盛物語（三場）

●高等演藝館　黄金町の國館にては本十六日より又々寫眞を取替へて目新らしく觀覽に供する由なるが其の寫なる者は

男一人嫁八人、ズボンの由來、蛙の曲藝、海事教育難破船救助の實景、小兒の手品師、父の名譽、電氣應用韓國妓生踊、夫人の驕慢、兎狩之戀、工兵の行動、警察官の名譽泥棒狩、素人寫眞師、活花

▲永樂亭　赤門前の永樂亭にては桃中軒雲丸一座の浪花節昨十五日より初日開演晴雨に不拘毎夜六時より其の讀み者は次の如し

▲蒲生三勇士（京山花笑）▲樓川五郎麗（吉川梅丸）▲水戸黄門記（京山花若）▲觀音丹次（吉川梅光）▲佐倉義民傳（岡本美根松）▲小栗判官（岡本美根由）▲義士銘々傳（桃中軒雲丸）

▲喜楽亭　赤門前の喜楽亭にては桃中軒雲丸一座の浪花節昨十五日より初日開演晴雨に不拘毎夜六時より其の讀み者は次の如し

▲蒲生三勇士（京山花笑）▲樓川五郎麗（吉川梅丸）▲水戸黄門記（京山花若）▲觀音丹次（吉川梅光）▲佐倉義民傳（岡本美根松）▲小栗判官（岡本美根由）▲義士銘々傳（桃中軒雲丸）

▲平民文庫▼

▲靜岡へ行くのに東京迄の連絡切符を買ふ人があれば夫れは馬鹿だと云ふが料理店などへ行つて少し許りしか料理を注文しないと客嗇だと思はれるだらうなぞと食へもしない物を誂らへて其の優殘して歸る人を往々見受ける馬鹿でもあるまいが勿論餘り悧巧な方とは思はれぬ（〇の字）▲永樂町二丁目の温飩屋に一寸した美人が居る年は二十一歳だとかだ、所が此の人にして此の挨拶世の中は思ふ如にならんもので此の娘今日迄に何度となく嫁入りするが三月と辛抱出來ないのか致ないのか兎に角行つては戻り行つては戻る獅子の洞入り洞返りを演じて居るが全体未だ何うするれ考へかしら他事とは思はれぬ（心配太）▲御心切横なことでれ宿許が知れさせぬから本人に代りまして略ながら紙上を以て深謝致します（小僧）▲旭町一丁目度支部官吏の不破とか云ふ方の家に女中たるべく產み付けられたとも思はれる頗る艶的な女中が居る熱るに不堪にも世間の女並に先塗より情夫の撰擇を初めて居た其の間にフト出目に止まつたは官舍より程遠からぬ別府組の車夫で限とか云ふ男の少々人間離れのしてる茶かかつた御面相に一方ならず思ひを寄せた落花の情流水豈に意なからんやで何方から先へ手を出したかは詮議の限りに非ずとして情約は芽出度成立して終つてから云ふものは男の意馬と女の心猿とが盛んにトチ狂つて居る双方とも獨身者のことだからドーダ一思ひに夫婦になつたら宜いぢやないか（實見生）▲京城電話交換局交換手が三月九日午後二時半より四時頃迄の接續振りは誠に美事なものであつた惜しい事には姓名を聞き洩した（仁川通話生）▲南山町二丁目はつねの手前の雜貨屋から十四日の午後六時半頃出て來た妻君があつたが其の嬶し相なとこし云つたら眼も鼻もも一つ所へ引つ固めてマルデ猿に辛子を嗅めさせた如だつた何が彼樣に嬶しかつたのだらう（通行人）▲其蚊は私には判りませんを、氣の毒さまですね（小僧）▲支那町の電路の險惡なること實に言語に絶ゐたり民團からでも警察かに變じて兎斯會社に変渉して二三燈點さしたら如何（古倫太）▲漢城の下水の拆泄さへ未だ手廻らないのに日韓人濃志の疏通が聞いて呆れがデングリ返ラア馬鹿にするない（米飯述）

吉凶録

本町五丁目　三一館判斷

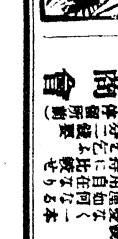
三月十六日舊二月五日　二黑赤口戌　成除

△一白　衰運なり新事見合すべし保證受印世話事の煩あり△二黑　殆難して悔を釀さんとす姦害酒色の害を減しむ△三碧　過失破滅あり新事凶街旅行疎引受保證事を堅く禁ず家族從者の事に煩累あり△四綠　取引金品授受證券圖章の事紛紜起り易し△五黄　世話に舟行を禁ず△六白　快欣の日なり大抵吉時抱川、加平、永平の諸郡に亘り義兵を標榜して掠奪を事とする草賊の類なり親しき間に反目離間起らんとす△八白　整理旅行轉住改革の事吉其外平△九紫　旅行は見合し病者は轉醫轉業すべし其外平凡

●夫無豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）

西の風曇晴後

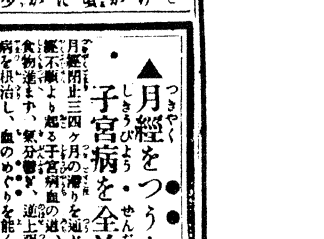
十四日（華氏）　最高温度　五八・五　最低温度　二四・四



▲月經をつうぢ・子宮病を全治す

二十世紀之新藥　春日丸

月經不順



●共進會團体参觀者募集●

本月自十一日至五月九日　日曜岡崎公園開催

賃金半額其他便宜希望者至急申込あれ旭町一丁目四六民團役所橫理髮所松井

●韓國勞働組運送部開業●

韓國勞働組は韓國現時の狀態に惱み多くの失業者無職者をして勞働に從事せしめ生業の安らに導びき其勞力を善良なる使役に利用し一端に資する事を以て目的とし左の業務を成さんが爲め京城有志の贊助を得て茲に運送部を開始するの選びと相成本月十五日を以て開店致し候間汎く諸彦の御同情を得て業務の盛大と共に多數勞働者に生活の安きを得せし他日各々獨立して生産の目的を得ば弊組の幸福甚大に御座候何卒諸彦の御愛顧を蒙り度伏て奉願候

一、貨物運送取扱
一、引越道具運搬
一、其他運送一切

業營種目

弊組運送部の勞働者は主として日本人を使用し其の取扱を丁寧迅速にさしめ決して遺憾なき樣注意致候尤も韓國人使用の際と雖も日本人先輩者となり立ち働き可申候間御安心の上御用仰付られ度伏して奉願候

弊組の營業

一、工事部　土木建築請負並勞働人夫請負
一、農業部　農事經營並土地開墾之に附隨する請負
一、雜務部　諸官衙の御用達、運送業、其他勞働一切

明治四十三年三月十五日開業
京城御成町百九番戸（電話一〇二〇呼出）

韓國勞働組運送部

組長　島田正米白

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり 德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●店員雇入 十四五歳の素希望者来談 あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）
●小供入用 龍山元町三 但十五歳以下至急入用 日韓組米店（電三四三）
●教師度に韓語あり多少英語を解す者社又は店諸官衙を望む 三十四歳貸物取扱及通譯手 氏名住社（一〇）
●農園 野菜類 協同者を求む但し經ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部

●電話譲渡又は貸付 本町四 丸岡〇番直接面 賛化堂藥店 に限る
●貸家 平家一戸建間數四間及長家一 南數三間場所南大門外吉野町
●貸家 平家一戸建間數四間及長家一 荒蕪平家 建坪十五坪乃至十八坪の 至急貸入たし 電話七四番へ
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を 求む男一人温実なら は最佳 氏名在社
●雑業 藥譲渡 日韓未使用紀念繪葉書 氏名在社（九）

廣告

京城西小門通六番戸
入院隨意 菅醫院
電話改番 一三一五

京城壽町三丁目（電話三七八番）
入院隨意 中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

入院隨意
京城壽町三丁目
内外科 高井醫院
小兒科 電話（二一六）
梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

龍山新市街山下町 隨意
内科 小兒科 眼科 原醫院

●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話番〇六九番
馬車配達

眼科專門
京城本町二丁目窓兵分遣所前
醫學得業士 江頭眼科醫院 電話三三
江頭富雄

印刷と紙
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店 京城本町六丁目 電話百拾番

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
諸官衙御用品調達

委託販賣
京ランバーメン商會代理店
京中外アスファルト株式會社代理店
京千代田生命保險相互會社代理店
京博文館發行書籍特約店
京金港堂發行書籍特約店
釜山鹽合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城電 明治二町目二番〇三 電話
出張所 東京市日本橋區兜町 東京京橋電話 東京新橋電話 東十番 京地 佛橋 南一町目六三

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區大坂）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

京城南山町（元日本人倶樂部内）
京城ホテル
長電話 一二三番
電話 四九二番

綿わたの洋物類
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、
卸問屋 唐川商店
京城明治町一丁目四ッ角
電話二六一番

貨物運送取扱
税關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送
内國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前 電話五一六番 草梁驛前 電話六三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

韓國銀行
電話（長）一一一 一一一 三三三
本店用 一一一 三三三 〇〇〇
當直用 一一一 一一一 一一一
使用係 一一一 一一一 一一一
來客用 一一一 一一一 一一一
臨時建築部

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣、
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、以上日本）釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、鎮邊、義州、以上韓國）大連、（清國）
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
大和屋 藤井出張店
明治町勸商場内ニモ出張店アリ 電話二百〇五番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
（鰻そば横町）電話二五八三番

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

大上商店
特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
（電話二二五一番）
自製食鹽各種特約販賣
和洋酒、醸造酢、穀物麺類、銘茶、鑵詰、乾物荒物、食料雑貨、ビール、米粮、鰹節、塩辛、日本御菓子
御望に依り商品切手調進仕候

神戸資生分院
京城梅毒病院
京城相生町（南門湯横）
◎花柳病專門並に痔（注射療法）
入院隨意
院長 醫學得業士 薦田鮮平
（電話一二九四）

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

韓國金屬商元祖
和洋金物商 藤釘本藤次郎本店
長電話四五番 電信略號（ク）
振替貯金口座第一三四二二番
新案特許品數種着荷
破天荒の大勉強
船來品は直輸入
日本製品は産地特約
京城本町五丁目

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御愛顧の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋旅館横へ入る）
待合醉月
電話二六五番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話一一一五番）

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
韓國
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

蒸氣 京城大和町二丁目 電話
牛乳 消毒

きゝめのある温泉湯
貸席 鐵冷温泉
京城本町一丁目郵便局前
電話千四百十一番
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこぬ、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城南大門驛前
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西宮、伏見、奈良、堺、岸和田、吉野、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、東山道 蓋根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、秋田、能代、土崎、高崎、北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聚寺、富山、伏木、新潟、山陰道 米子、境、松江、久手、大田、宮津、峯山、鳥取、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、山陽道 五島、福山、新府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、岡山、南海道 申本、伽坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津、久留米、若津、中津、小倉、門司、大分、西海道 庄方、鹿城、博多、福岡、若松、行橋、桟藤寺、佐伯、別府、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、北海道 函館、小樽、札幌、台灣 臺北、臺南、清國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、興州、馬山、銀行一般の業務精々便利取扱可申候

★株式會社百三十銀行 韓國 京城本町二丁目十五番地 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西宮、伏見、奈良、堺、岸和田、吉野、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、東山道 蓋根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、秋田、能代、土崎、高崎、北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聚寺、富山、伏木、新潟、山陰道 米子、境、松江、久手、大田、宮津、峯山、鳥取、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、山陽道 五島、福山、新府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、岡山、南海道 申本、伽坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津、久留米、若津、中津、小倉、門司、大分、西海道 庄方、鹿城、博多、福岡、若松、行橋、桟藤寺、佐伯、別府、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、北海道 函館、小樽、札幌、台灣 臺北、臺南、清國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、興州、馬山、銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行 京城支店
本店 長崎市樂町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、羅州、群山、釜山、元山、
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐、其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
韓國日本銀行
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

京城鐘路の喰物は何んだろ？
裁判所前の洋食店 鐘路軒の
松茸めしさ酒一本 一人前六十錢
價が安くてうまくてはらニたまる
皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてゐる極く便利です
電話壹四二九番客用有ます
◎監獄辨當の意入も引受ます◎